

第2回「防府市自治会応援検討委員会」会議録（概要）

開催日時 令和8年7月10日（金）午後2時00分～午後3時30分
会 場 ルルサス文化センター 交流室1
出席委員 11人（欠席：0人）

◎ 協議事項

- ① 第1回の各委員からの意見
- ② 条例について

○ 開会

- 資料1「条例について」、資料2「第1回の各委員からの意見」
事務局から資料に沿って説明

○ 委員長

まず最初に、前回の確認事項であった委員会の意見のまとめ方についてです。当委員会は市が様々な立場の方の意見を聴くことを目的に設置されたものです。市は、我々の交わした意見をしっかりと整理し、これからの施策の展開に活かしてもらうこととなります。

それでは、事務局からの資料説明について意見を求める。

○ A委員

当委員会の最終目的は定められているのか。

○ 委員長

自治会活動の活性化のために、様々な関係者ができることなどを条例の在り方も含め、ご意見をいただきたい。

○ A委員

市としては、自治会をどのように考えているのか。

○ 事務局

住民相互扶助に基づき、様々な活動をされている自治会は市にとっても必要不可欠な団体。一方で、自治会は任意組織であるため、加入を強制できないという課題があり、自治会活動の活性化のために当委員会で提案や方策の検討等を行ってほしい。

○ B委員

自治会がなくなれば、これまで無償に近い形で担っていた配付業務、ごみ管理、溝掃除などがすべて行政の仕事となり、税金が増え、市民に影響が出ると考える。

○ A委員

自治会への加入を促進するためにも、自治会に加入した場合のメリットを明確化する必要があるのではないか。

○ 副委員長

市民が自治会のことを正しく知ることが加入につながると思う。

条例により自治会への加入を強制することは、憲法上の「結社の自由」等に抵触するため、相当慎重な対応が必要。

○ C委員

資料にあった他市の条例では、「努める」、「促す」等の表現に留まっている。他市の条例の構成や強制力の程度についても確認したい。

○ B委員

条例は自治会加入勧誘の根拠の一つになると考える。未加入者に対して、自治会加入メリットを丁寧に説明するのは自治会の役割だと考えている。

○ D委員

民生委員の選出依頼が自治会にある。中々なり手が見つからず、いつも苦勞している。

○ B委員

地域の事情に詳しい自治会に民生委員の推薦依頼があるが、これを行うのは、地域における自治会の役割と考えている。

○ A委員

自治会加入のメリットがあっても加入しない人はいる。そのような人たちをどのようにして加入してもらうかの議論が必要。

○ E委員

自治会のセーフティーネット機能である高齢者の見守り活動は、自治会加入の大きな魅力のひとつで

ある。

○ F 委員

自治会のコミュニケーション機能はメリットの大きなひとつ。自治会を活性化するため、まずは条例により、それぞれの役割を明確化することが必要と考える。

○ 委員長

自治会加入メリットの情報発信や自治会業務の負担の軽減など、条例にどのような内容を盛り込めば良いかなどの意見交換をお願いしたい。

○ G 委員

自治会への勧誘について、例えば年代等のターゲット別にアプローチを変えると有効と考える。

○ C 委員

これまでの議論からすると、条例制定の目的は各主体が積極的に自治会を支援・協力していくための「通過点」であり、加入促進や地域の活性化に向けたひとつのポイントと位置付けることが適切ということによいか。

○ 委員長

その認識で相違なく、条例を「てこ」にしたコミュニティづくりなど、自治会の活性化を継続的に取り組むことが重要。

○ H 委員

条例で自治会の存在意義を明確にすることが重要。また、自治会への加入率を上げるためにも、会費や寄付金の在り方、他の団体との連携などを検討する必要がある。

○ I 委員

それぞれの立場でどのような応援の仕方があるか考える必要がある。

○ E 委員

もっと若い世代に任せることが必要と考える。

○ 副委員長

先ほど市からの補助金で自治会を運用すればいいというご意見があったが、すべて補助金で賄うとなると、自律性がなくなり、市の方針に左右されてしまう可能性が出てくる。

今後の自治会の在り方として、例えば、運営すべてを行政からの補助金に依存すると自立性がなくな

り、行政の意向に左右されるリスクを負うことになる。

自治会の「自治という価値」をしっかりと考えながら議論、検討していきたい。

○ H委員

自治会の本来の目的は、地域の親睦を図ることであるが、行政や他の団体からの業務負担が大きく、その機能が十分に発揮されていない状況。隣近所の付き合いを大切に、顔の見える関係を構築することが一番大事。

また、自治会連合会の在り方についても検討していく必要があると考える。

○ B委員

加入促進に加え、自治会長等のなり手不足対策を今後の検討課題のひとつとしてほしい。この二つが自治会の大きな課題と考えている。

○ 委員長

次回以降も条例の検討を深めるための議論を中心に行う。事務局に条例の項目案の提示や他市の動向等の資料の提供をお願いする。

○ 閉会